



〒954-0052

見附市学校町2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsukeno-ngt.ed.jp

令和3年8月23日 NO.5

真言宗智山派「椿澤寺」

8月16日撮影



「アカウントの大切さ」

教育センター嘱託指導主事 早田 秀夫

「GIGAスクール構想」のおかげで、今年度から見附市の小中学校に、一人一台端末（Chromeブック）が配置をされました。見附特別支援学校には、iPadが配備をされる予定です。いよいよICT（情報通信技術）の教育利用が推進される新たな時代がスタートします。

このことについて、今年の『内外教育5月号』で、上智大学の奈須正裕教授がとても大切なことに触れていたのので、少し紹介をしたいと思います。それは、「一人一アカウントの教育」というものです。

パソコンに代表される従来の情報端末は、ストレージ（補助記憶装置：ハードディスク等のこと）にプログラムやデータを格納していました。そのため、データ量が増えるにつれ、ストレージの残量を気にしなければなりませんでした。

しかし、最近の情報端末はクラウド上（インターネット上の場所のこと）にストレージを持ち、様々なクラウド上のシステムやプログラム、データにアクセスすることでできるようになりました。もちろん、無制限というわけにはいきませんが、その結果、自分の

アカウントでログオンすれば、どの端末からでも自分のデータや情報環境を使えるようになりました。アカウントの設定は、IDとパスワードの二つを設定するだけです。自分専用の部屋を作るための「部屋の名前がID」で、「鍵がパスワード」になります。

例えば、自宅のPCやスマホに自分のアカウントでログオンし、クラウド上のストレージにファイルを保存しておけば、次の日、学校の端末からファイルをダウンロードして先生に提出したり、学習班で共有したりできるようになります。

また、自分の使っている端末が故障しても、予備の端末にログオンすれば、そのまま学習を続けることができます。あくまでも、アカウントが「主」で、端末が「従」ということになります。そのためにも、アカウント（IDとパスワード）の概念と取り扱いスキルの習得は重要であり、各校での徹底をお願いしたいと思います。

ところで、どこかの防虫剤のCMではありませんが、我々も、「おでこにパスワード書いて歩かないよう」に、気を付けたいものです。

巻頭写真に寄せて

越後三十三番観音霊場第十六番札所 一椿澤寺一

◇「みつけ塾：つなぐ」に「見附の先人たちが築いてきた歴史と文化。それは未来を生きる貴重な宝もの…」との文章のもと、『見附の宝もの』が、地区毎に写真付きで紹介をされている。

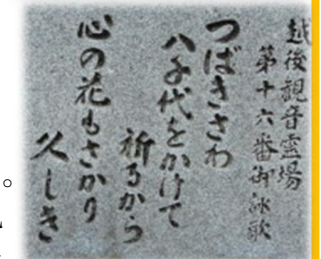
見附や日本の発展に尽くした人物も紹介をされているが、圧倒的に神社仏閣が多く、寺は17寺も取り上げられている。見附の人々の暮らしが、寺とともに歩んできた証であるし、名刹も数多い。その中でも、私が素晴らしいと思うのが、巻頭写真の真言宗智山派の寺院「椿澤寺」である。観音堂の創建は、和銅年間(708-715)。行基(高僧)が巡錫で当地を訪れた際に、川上から椿の霊木が流れ着き、その霊木から三尺五寸の千手観世音菩薩像を自ら彫り、安置したのが始まりとされる。椿澤寺は、大同2年(807)に善光寺(長野市)で四十八夜念仏修行を終えた常尊上人が、阿弥陀三尊像を彫刻して安置し、観音堂の別当寺院として開山をされた。椿澤寺は康元元年(1256)、鎌倉幕府5代執権北条時頼により「越後三十三番観音霊場第十六番札所」に選定され、寺運が興隆し大寺院となる。戦国時代には、上杉謙信の祈願所として庇護をされ、謙信も何度も訪れたと言われているお寺である。

◇写真撮影は8月16日に伺ったのだが、八脚単層門の山門(右写真)に歴史を感じながら進むと、参道入口に石塔(右中写真)がある。石塔に大寺院の風格を感じ、さらに進むと境内に着く。本堂を望むと、裏山の借景も相まって、古刹に相応しい重厚な姿(巻頭写真)に圧倒をされる。近づく正面入口(上写真)の手の込んだ細工が施された軒(庇)の部分に目を奪われてしまう。また中央部の石段を登り切った所の石碑(右下写真)に御詠歌「つばきさわ 八千代をかけて 祈るから 心の花もさかり久しき」が刻まれている。見ていると、自然と唱えてしまう。

見附の宝ものの椿澤寺。ぜひ、多くの人に訪ねてほしいものがある。

コラム = 椿澤寺から学びが広がります 高僧：行基の功績 =

◇小学校6年社会の教科書に「聖武天皇と大仏づくり」という単元がある。「…8世紀の中ごろ、都では伝染病が広がり、地方では飢饉や貴族の反乱が起こり、世の中が混乱した。聖武天皇は仏教の力を借りて人々の不安を少しずつ国を守ろうと考えた…」という本文脇に『大仏づくりと行基』の囲み文で「…大仏づくりに、行基の協力は人々の力を集めるうえで大きな力になった…」と説明がある。ではなぜ、「行基が人々の力を集めること(労力や物資の提供)が出来たのか」を考えてみたい。資料集等では「行基は貧民救済や治水架橋などの社会事業の活動をしていた」とある。人々の生活を救うことで信頼を得ることができ、信頼を得て布教活動に繋がっていったのである。当時は、ほとんどの人が税を納める農民であった。貯水池を築き、橋を架けるという土木工事を行い、港を作った。怪我や病気の人のために温泉を開いた。(有馬や草津などの全国の有名温泉の多くが行基の開湯伝説がある。)古式の日本地図(行基図)を作成した。行基焼を伝えた。(諸国を行脚して民衆に作陶技術を教授)等々があって、仏教を広め、椿澤寺の観音堂のように、行基による開寺は、全国に約600寺(多くは近畿地方)に及ぶ。ただ、奈良時代のことであり、行基の功績の多くは伝承であるが、米づくりのための土木工事の指導、怪我・病気に効く薬や温泉の効能等の伝授がなければ、民衆は大仏づくりに協力はしなかったと考える。最澄や空海の時代から、仏教界は数多くの宗派の開祖が現れ現代に至っているが、行基ほど民衆とともに汗を流し、生活をした僧はいなかったのではないかと考えた。(こ



4時から夢塾 「困り感のある子どもが困らないために…」

4時から夢塾：第5回は7月14日(水)に、フリージア本所教室の真壁 薫先生と南雲文子先生から「困り感のある子どもへの寄り添い方」についてのご指導を頂いた。内容を簡単に紹介する。

1 はじめに —放課後等デイサービス・保育所等訪問支援とは—

- ・所管官庁は厚生労働省。
- ・保護者のニーズ…「読み書きができるように」や「社会性を身に付けて」 真壁 薫先生
- ・社会のニーズ…「経済的な自立を」「納税者に」「生きがいをもって人生を楽しんで」

2 放課後等デイサービス「フリージア本所教室」

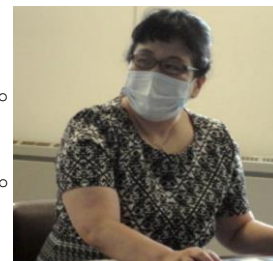
- ・自立支援と日常生活の充実の為の支援，学習支援，SST，地域交流の機会の提供をする。
- ・子どもたちの将来の自立のために，自分たちにできることを続けたい。
- ・子ども46名 スタッフ11名(教員経験8，保育士1，児童指導員1，指導員1)

3 困り感のあるお子さんとは？

- ライフスキル…自炊力(ひとり三合，鍋で炊く)，DIY(やってみよう)：塗料は珈琲
- ソーシャルスキル…異学年グループ活動，読み書き・計算・時間等アカデミックスキル
- ・いかに楽しく語彙を育てるか…体験：外遊び，読み聞かせ読書，会話：言葉のドッジボール
- ・多層指導モデル MIM(ミム)と読み聞かせ，調理実習，マンガと併用することで読むことが大好きな子どもが育つ。地域の先生に支えられ，プログラミングで山手線を覚える活動。
→このような活動に複数人数で参加できない人たち(学校で本当に困っている人たち)。
- ドクターからの指示…①薬だけでは効かない。②学校ではできるだけユニバーサルな授業を。
③家庭では温かい声掛けを。④生活の中で，ひとりでききることを増やすこと。

4 二次的な障害と複雑な背景は繋がっている

- 発達障害単独ではあまり困らない。・小さい頃の病気(耳・目等)の後遺症。
- 失敗経験が重なり二次的な障害(反抗挑戦性障害)・学習性無気力感という二次的な障害。・虐待(「良くならないね」の原因が虐待)・ゲーム依存症。
- ・諸検査でははかれない困り感…WISC-IV・K-abctyuII・田中ビネーなど。
- 薬ではなおしにくい困り感…肉親の死・親の病気・失業・貧困・転居。
・親の不仲・離婚・反抗性愛着障害の連鎖・不治の病・病気の後遺症・虐待。



- 学習性無気力感…1カ月に300枚も勉強したのにひらなが身につかない。やるの，いやだ。
- ・読んでくれればわかるのに一人で読むのは難しい。いくら勉強しても読めるようにならない。
- ・実は弱視や耳の病気であった。それらの治療で理解力がアップし，出来ることが多くなった。
→「困り感のあるお子さんが困らないために，今できること」＝「予防」ということ

5 3つの予防 「特別支援教育で大切にしたい3つの柱」→ 南雲文子先生から指導(次頁)

夢塾第5回の続き 「特別支援教育で大切にしたい3つの柱」

南雲文子先生から「困り感のあるお子さんが困らないために、今できること」のご指導を頂いた。南雲先生は長年、特別支援学級担任として実践された取り組みを3つの観点(柱)から話して頂いた。内容を簡単に紹介する。



南雲文子先生

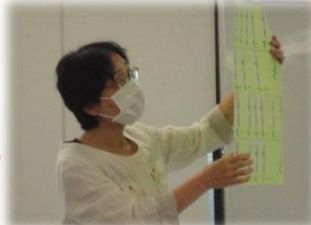
1 児童・生徒

(1) 信頼関係づくり

- ① 褒める・ありがとう等の温かい言葉かけで、五感を通して脳を育てる。
- ② 可能な限り「いいよ」の受容と共感、そして選択での自己決定を。
- ③ 一緒に楽しいことをして過ごす。(余暇活動に繋がる内容がよい)

(2) 分かりやすい授業

- ① 実態に合った学習内容と教え方の工夫、保護者との共通理解。
- ② 各教科の見通しをもつ。
- ③ イライラしないで一人でできる宿題の内容とその子に応じた量。



2 保護者

(1) 信頼関係づくり

- ① 学校での良さを伝え、家庭で褒めてもらう。(※1粒で2度美味しい)
- ② 保護者のことも褒める。(保護者の心が写るんです…)

(2) 家庭での我が子との関わり方〈心を育てる関わり方〉を伝える。

※家庭・イライラメーターをできるだけ下げ、次の日のエネルギーを貯める場所

- ① (頭をなでたり、背中をさすってあげたり等の) 母親のスキンシップの大切さ。
 - ② 温かい言葉かけ。(褒める・ありがとう・「大好き」など喜ぶことば等)
 - ③ 受容と共感と代わりの用意、そして自己決定。
 - ④ おやつ作りなど、一緒に楽しいことをして過ごす。※ゲームはNG
- (3) 小5になったら「将来について」一緒に考える。



3 関係機関との連携

(1) 医療機関 ※学校での様子を伝えることが大切

(2) 学童クラブ ※イライラの原因になっていることが多い。

(3) 放課後等デイサービス ※預かり中心の所はイライラの原因になっていることが多い。

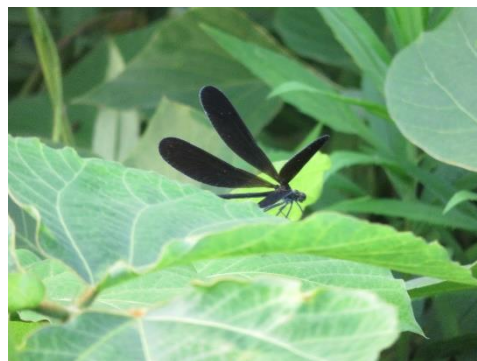


<参加者の声>

- ・自分の姿を見直して、褒めるなどの温かい言葉かけを増やしていきたい。
- ・どの関係においても信頼関係の大切さを改めて感じた。言葉かけ、受容等意識していきたい。
- ・五感を通して脳を育てる考えと、特別支援教育で大切にしたい3つの柱が強く印象に残った。
- ・園児・保護者との信頼関係作りが足りなかった。関わり方が違っていただけに気づき反省だ。
- ・叱ってばかりと反省した。受容、共感、一緒に楽しいことをするができるように頑張りたい。
- ・アカデミックスキルを大事にしながら、沢山の経験をすることで学びが増えていくと実感。

8月

科学教育部



【夏休み以降の科学教育部の活動】

《今月の1枚》 ハグロトンボ

児童生徒が夏休みの科学のものづくりや研究の成果を発表する場として、「夏休み作品展」「科学研究発表会」を開催します。新型コロナウイルス拡大防止対策をした上で実施します。多くの児童生徒が自信をもって発表ができる場となることを願っています。各校の理科主任の先生を中心として申し込みをお願いします。

<p>「見附市児童生徒夏休み作品展」 会 場：ネーブルみつけ</p>	<p>9月25日(土)～ 26日(日) 9:30～16:30</p>	<p>児童生徒が、夏休み中に作り上げた科学工作や観察記録、標本などを展示し、広く紹介する場となります。多くの応募をお待ちしています。</p> <p>※9月8日 締め切り</p>
<p>「見附市児童生徒科学研究発表会」 会 場：見附市中央公民館</p>	<p>10月6日(水) 14:15～16:20</p>	<p>児童生徒が、身近な自然や日常の事物・現象について研究したことを発表する場です。特に優れた作品を新潟県科学研究発表会(いきいきわくわく科学賞2021)に推薦します。</p> <p>※9月8日 締め切り</p>

<p>第3回理科主任会</p>	<p>9月16日(木) 15:40～16:40</p>	<p>「作品展」「科学研究発表会」の打ち合わせをします・感染症対策についても確認しますのでご参加をお願いします。</p> <p>※科学研究発表会要項200部搬入 締め切り</p>
-----------------	---------------------------------	---

<p>天体観察会</p>	<p>8月31日(火) (予備日9月1日) 19:00～20:30</p>	<p>木星と土星を観察します。</p>
<p>小3「音を伝えよう」「光を調べよう」</p>	<p>9月2日(木) 15:40～16:40</p>	
<p>中学校2学期活用課題研修</p>	<p>9月30日(木) 15:40～16:40</p>	

科学の公園

天体観察会（8月31日）の星空～土星と木星が観察できます～



天体観察会を予定している8月31日の夜8時の夜空です。南東の方角に太陽系最大級の大きさである木星と土星を観察することができます。太陽が沈む夕方頃に東の空から昇って、太陽が昇る朝方頃に西の空に沈むので、一晩中見ることができます。ぜひ興味がある方は追加で参加できますので、教育センターまで連絡ください。



木星

木星は太陽系最大の惑星です。木星の表面には何本かの縞模様があることが特徴です。木星本体から少し離れたところに「ガリレオ衛星」と呼ばれる4つの衛星「イオ」「ガニメデ」「エウロパ」「カリスト」を見ることができます。木星の周りを公転しているので順番が変わって見えます。肉眼で見える明るさではあるのですが、木星が近くで明るいため肉眼での見つけるのは難しいですが、双眼鏡を用いると見つけることができます。



土星

土星の特徴は何ととっても美しい環です。一般の天体望遠鏡で輪を観察することができるのは、土星だけです。地球から見る土星の輪は15年周期で傾きが変化して見えます。近年では2017年には最も環が開いて見える傾きでしたが、今は年々小さくなっています。土星の周りを回る衛星タイタンも見えるかもしれません。

その他、天体観察では星空を楽しむのにさまざまなアプリが開発されています。遠い夜空を少し身近に感じることができます。GIGA 端末を活用しながら児童生徒の天体への興味を膨らませていきたいものです。

(参考資料・参照画像：国立天文台HP)